

2012 年合格目標 国総併願講座 ガイダンス & オリエンテーション

補助レジュメ

担当 山下

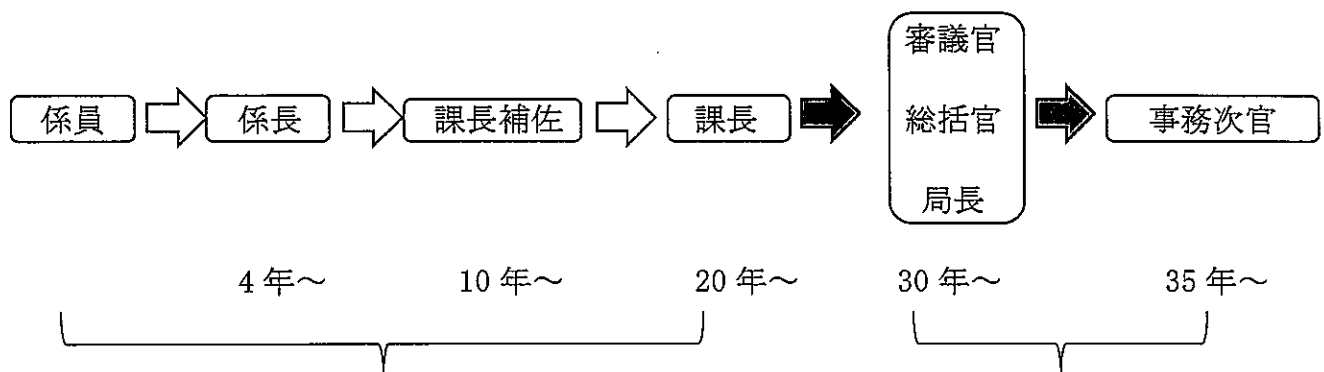
<今日の予定>

- 1 国家総合職とは
- 2 国家総合職試験とは
- 3 勉強方法
- 4 面接対策・官庁訪問対策

1 国家公務員総合職とは？

これからのわが国をデザインする仕事＝本省で日本の政策を作る仕事

具体的にはどのような仕事をしていくのか？・国家一般職との違いは？



政策・企画の立案、法律の制定・改正、業界指導

外国・政治家・他省との交渉

⇒ここまでは国家一般職と同じ（出世は早い）

⇒国家一般職との違い

※課長より上は競争⇒外れたら天下り（独立行政法人や関係業界の民間に再就職）

※また、途中で政治の世界（議員・首長）や学者の世界への転身もある

※総務省・農水省・警察庁などは地方への出向がほぼ確実に存在する＝転勤アリ

2 国家総合職試験とは？

① 1次試験(4月第5日曜日 平成24年は4月29日⇒発表は5月13日)

1) 基礎能力試験(3時間 40問 多肢選択式=マークシート)

知能分野(27問)

文章理解(11問)…現代文・英文の内容把握・空欄補充・文章整序=並べ替え

判断推理・数的推理(16問・資料解釈を含む)⇒どのようなもの?は後述

知識分野(13問)

自然(数学・物理・化学・生物・地学)・人文(文芸・思想・日本史・世界史・地理)・社会(政治・経済・時事)⇒1科目1問になる可能性大

2) 専門試験(3時間30分 40問 多肢選択式=マークシート 丸数字は出題数)

[法律区分]

必須科目…憲法⑦、行政法⑫、民法⑫

選択科目…商法③、刑法③、労働法③、国際法③、経済学・財政学⑥から任意の9問

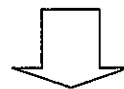
[経済区分]

必須科目…経済理論⑯、財政学・経済政策⑤、経済事情⑤、統計学・計量経済学⑤

選択科目…経済史・経済事情③、国際経済学③、経営学③、憲法③、民法(担保物権、親族相続を除く)③から任意の9問



基礎能力⇒数的処理 専門⇒必須科目を中心に



これらの科目で点を固めて、その他の科目では点を拾う

② 1次試験の合格点は？＝達成度

合格点はどのくらいか？(現 国家I種試験で考えると…)

平成 23 年 国家 I 種試験法律系結果(詳細は国家公務員採用試験ナビ HP)

1 合格点

- 1 次試験合格点(教養＋専門択一)・・・257 点(標準点※)
- 最終合格点(1 次＋専門記述＋総合＋人物)・・・581 点(標準点※)
- ※標準点・・・得点を元に偏差値を加味して計算された点

2 平均点

	教養試験	専門試験(択一)	専門試験(記述)	総合試験*
満点	45	50	60	10
基準点(足切点)	18	20	18	4
平均点	20.947	22.036	31.831	5.946
標準偏差	5.363	7.634	6.007	1.431

*総合試験・・・平成 24 年からは政策論文試験

平均点だと標準点は何点と換算されるのか？

教養：21 点⇒77 点 専門択一：22 点⇒117 点 専門記述：32 点⇒155 点
総合：6 点⇒77 点 人物：C 評価⇒76 点

2 次試験で平均点を取るとしたら 1 次では何点必要か？

2 次の平均点＝155 点(専門記述)＋77 点(総合)＋76 点(人物)＝308 点

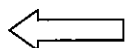
1 次では 257 点(標準点)必要＝1 次合格すれば最終合格できる

それを教養択一・専門択一に割り振ると

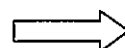
教養	18(64)	22(81)	23(85)	24(90)	25(94)	26(98)	27(102)
専門	40(260)	36(178)	35(174)	34(169)	36(165)	32(160)	31(156)

結局最低目標点は…

基礎能力 5 割



目 標



専門 7 割

※基礎能力試験で 50%取れないと苦しい

⇒数的処理か文章理解で点を取れない人は地方上級・国家一般職の勉強を頑張った方が

良い

③ 2次試験・筆記試験 (5月第4日曜日 平成24年は5月27日)

専門試験 (記述式 4時間)

[法律区分]

憲法、行政法、民法、国際法、公共政策の5科目から3科目選択

[経済区分]

必須科目 経済理論

選択科目 財政学、経済政策、公共政策の3科目から2科目選択

政策論文試験 (記述式 2時間 1題)

…政策の企画立案に必要な能力その他総合的な判断力。及び思考力についての筆記試験

④ 2次試験・人物試験 (5月下旬から6月上旬 平成24年は5月29日から6月15日)

…人柄、对人的能力などについての個別面接

合格には何点くらい必要か？

平成23年試験では

専門試験(記述式)の足切りは60点満点で18点(行政、法律、経済すべて)

総合試験(記述式)の足切りは10点満点で4点

人物試験での足切りはA～E評価のうちE評価を取った者

筆記で60%(平均点レベル)を取れば、人物試験がCランクで合格できる

3 勉強方法

[法陸区分]

①憲法…地方上級・国家一般職の勉強と一番重なり合う科目

⇒地上の勉強をいち早くブラッシュアップして、この講座の講義を受講しよう

⇒専門択一講義を受講した後に、専門記述の対策

とりわけ、事例の分析方法・人権における二重の基準論などはしっかりやる

担当講師コメント

憲法を担当する新谷です。国家総合職試験の大卒程度の法律区分では、専門択一試験において憲法は7題出題されます。憲法は、受験者であれば皆得点源にしてくる科目ですから、絶対に得点源にすべき科目です。

出題内容については、人権と統治がまんべんなく出題されていますが、「公共の福祉論」「違憲審査基準」「選挙権の法的性質」「国家緊急権」「天皇」等あまり他の試験で出題されていない論点からの出題もあります。そして、地上・一般職の問題に比べると若干細かい点まで問われる点に特色があります。

出題形式については、他の国家公務員試験同様、組み合わせ問題が多いのが特色です。

そこで今回の講義では、地上・一般職の講義では扱わなかった上記論点や判例を中心に講義する予定です。

②民法…地方上級・国家一般職にプラスαが必要

⇒地上の基本講義をしっかり復習した後に、民法応用の講義を受講して、この講義に臨もう

⇒専門択一講義を受講した後に、専門記述の対策

とりわけ、事例の分析方法ができるように…

担当講師コメント

民法を担当する吉原です。国家総合職試験の大卒程度の法律区分では、専門択一試験において、民法は12題出題されます。行政法と同様に合否を分ける科目になっています。

試験では、総則・物権・債権・家族法と万遍なく出題されますが、他の試験と同様に財産法の出題が圧倒的に多いことが挙げられます。

また、出題数の多さもあって「先取特権」、「債務引受」、「契約の地位の移転」、「遺贈」等マイナー分野も問われることに特色があります。レベル的には他の国家公務員の試験とほとんど変わりはありません。組み合わせ問題が多いのですが、見解問題、判例の穴埋め問題等も過去問を分析すると問われています。

上記傾向を踏まえて意思表示、時効、物権変動、抵当権等の頻出テーマを押さえつつ、地上・一般職講座では時間の制約もあって言及できなかった見解（動機の錯誤・受領遅滞・瑕疵担保責任等）の対立にも、今回の講義では言及していきます。また、近時の判例の動向にも言及する予定です。

③行政法…国家総合職・法律区分の可否のカギとなる科目

⇒地上の勉強よりさらなる上積みが一番要求される科目なので、これも地上の勉強をしっかりやってから講義に臨もう

⇒専門択一講義を受講した後に、専門記述の対策

新しい判例の知識なども要求されるので、この講座の択一講義の復習もしっかりやってから専門記述の講義を受講する

担当講師コメント

行政法を担当する吉原です。国家総合職試験の大卒程度法律区分では、専門択一試験において、行政法は12問出題されます。各種の公務員試験の中で行政法の出題数が最も多く、行政法が重視されている試験職種といえるでしょう。

内訳は出題数の多さを反映して行政作用法、行政救済法、行政組織法の3分野から万遍なく出題されていますが、全般的に救済法からの出題が多いのが近時の特色です。

問題の形式的には他の国家公務員系の試験と同様に組み合わせ問題が多いのが特色です。内容的には基本判例、近時の最新判例をベースにした出題が多いのですが、行政事件訴訟法、行政手続法、地方自治法の近時の改正等法改正をベースにした出題も多くなっています。

上記の傾向を踏まえて、今回の講義では地上・一般職講座では時間の制約もあり言及できなかった近時の判例等を重点的に取上げる予定です。また、近時の法改正も重点的に出題されていることから法改正のポイントも改めて確認していきましょう。

最後に、今回の本試験の可否を分析すると行政法の得点差が可否を分けたことが判明しているため、この講座で行政法の底上げを図ってほしいと思っています。

④商法・刑法・労働法…選択とはいえ、何点か拾えなければならない

⇒いずれの科目も、地上の講義受講を終えて、しっかり復習した後に受講する

⇒地上の人は財政学で点を拾うことも可能（理論は出題されないため、知識で対処可能）

担当講師コメント

商法を担当する吉原です。国家総合職試験の大卒程度法律区分では、専門択一試験において、商法は3問出題されます。近時の過去問を分析すると会社法と手形法からの出題になっています。近時の傾向をみると、大改正された会社法からの出題が目立っており、株式、機関等の従来から頻出テーマとされた分野だけでなく組織再編、新株予約権等の、学習が手薄になりがちなテーマも出題されています。

一方、手形法は基本判例をベースにしながらも重要テーマについて全般的に問われており、他の試験では問われていない手形理論、支払等も過去には出題されています。

上記の傾向を踏まえて、今回の講義では、地上・一般職講座では言及できなかったテーマ、判例等を取上げる予定です。

担当講師コメント

刑法を担当する句坂です。地上・一般職講座での選択講義「刑法」では、刑法総論と刑法各論を全体的に学習しますので、地方上級の2問には十分対応することはできます。しかし国家総合職で出題される学説問題と細かい犯罪の問題には対応できないところがあります。そこで、今回の講義では、刑法総論では正当防衛などの近時の判例、違法性の意識についての学説、共犯の本質論・共犯の処罰根拠・共犯従属性の程度についての学説などを学習し、刑法各論では名誉棄損罪における事実の真実性の証明、窃盗罪の保護法益、盗品等に関する罪、公務執行妨害罪と業務妨害罪の関係、賄賂罪などを学習していきます。

労働法を担当する富田です。国家総合職試験では、労働法は専門択一試験の選択科目で、しかも3題しか出題されませんが、理論がシンプルでかつイメージしやすく、初学者でも得点源にできる科目です。地上・一般職講座での選択講義「労働法」では、主に地方上級職と労働基準監督官の頻出の分野を扱います。ですから、それらの試験種ではめったに出題されない「不当労働行為の救済手続」や「労働関係調整法」、さらには、国家総合職でしか出題されたことがない「出向・配転」などのテーマは扱っておりません。そこで、今回の講義では、それら、いわば国家総合職固有のテーマにつき、徹底的に攻略していきます。

〔経済区分〕

①経済学応用…国家総合職・経済区分の可否のカギとなる科目

⇒ミクロ経済・マクロ経済の基本講義をしっかり復習して受講

※ミクロ・マクロ応用の受講は不要

②財政学…計算問題（税・財政のマクロ分析）などは経済理論がベース

⇒年明けに基本講義を受講するために、年内は経済学の勉強を優先

③経済政策…これも、経済理論がベース

⇒年明けに基本講義を受講するために、年内は経済学の勉強を優先

④統計学・計量経済学…国家総合職独自の科目

⇒年内に受講して、しっかりと復習しておく

⑤経済史・経済事情…ベースは地上と同じ

⇒記憶だけでなんとかなる科目なので、直前期にやればよい

※地上と重なる経営学、憲法、民法(担保物権、親族相続を除く)の方が、併願者には点を取りやすいかもしれない⇒自分の得意・不得意によってこちらの取捨も明確にして、取る場合にはしっかり勉強しておくとい

※法律区分・経済区分ともに専門記述で出題される公共政策は、併願者にとっては1科目多く勉強しなければならないという負担となる可能性がある

⇒自分の勉強の進捗に応じて、採否を考えていく

⇒公共政策Bは経済・財政をしっかりとった人ならば対応可能

4 面接対策・官庁訪問対策

①面接対策…地方上級・国家一般職の面接対策とそれほど違いがあるわけではない

⇒1次試験合格後で十分

②官庁訪問対策⇒最終合格してもこれを突破しないと就職できない(いわば隠れメニュー)

開始…最終合格発表日の翌々日(平成23年は6月22日)午前8時30分から

期間…開始日から1週間(同一省庁に訪問日の翌日・翌々日は訪問不可)

次の1週間(同一省庁に2日連続して訪問不可)

※平成23年の例

月日	6/22	6/23	6/24	6/27	6/28	6/29	6/30	7/1	7/4	7/5	7/6	7/7
訪問	A	B	C	A	B	C	A	B	A	B	A	A

⇒7月7日に「内定」が出る・・・事実上の内定はそれ以前に暗示されてはいる

⇒1次合格後の官庁訪問対策講義・最終合格後の報告会などで対策を練る

国総併願講座

法律/経済 区分

オプション講座

国家総合職(現:国家I種)併願対策

— 飛躍。最高峰に挑む。 —

講座概要

- 専門択一●専門記述
- 政策論文●官庁訪問

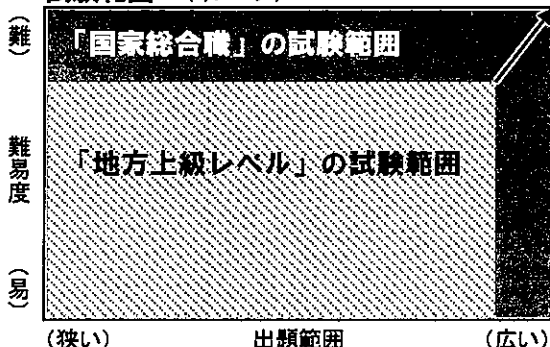
TAC地方上級・国家一般職講座の本科生で
国家総合職(法律/経済)を併願したい方

対象者

※本講座は、地方上級・国家一般職講座の講義を受講していることを前提に講義を行います。(政策論文対策・面接・官庁訪問対策を除く)

最少の学習時間で、必要な論点だけを学習

試験範囲 (イメージ)



地方上級レベル講座の学習内容を踏まえた併願対策

地方上級・国家一般職講座の受験生から、毎年、多くの方が国家I種(新:国家総合職)試験に合格しています。しかし、独学や市販書籍での併願対策には大変な労力が必要です。

そこで、TACでは国家総合職の併願を考える受験生向けに、これまでの学習内容を踏まえて、追加学習が必要な論点だけを効率的に学べる併願専用対策講座を開講。余計な時間を使わず、最少の労力で国家総合職試験に対応できる力を身に付けます。

これまでの学習に手ごたえを感じ、さらに上のレベルを目指す皆様の参加を、お待ちしております。

無料体験OK 予約不要

開講オリエンテーション

担当: 国家総合職講座担任 山下 純一 講師

地方上級・国家一般職レベル受験生のための、国家総合職併願対策をご案内します。国家総合職の試験科目や、新たに学習が必要になる論点について解説いたしますので、併願をお考えの方は是非ご参加ください。

教室講座〔渋谷校〕

8/30 (火)
14:00-15:30

DVD講座

TAC無料動画配信サイト
動画チャンネル

9/6 (火)
視聴開始

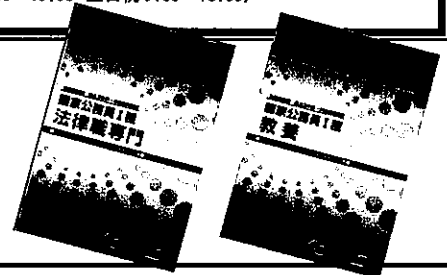
DVD 講座の視聴にはご予約が必要です。DVD 講座の体験入学専用予約ダイヤル
03-5276-8980 (平日 9:30~19:00 土日祝 9:30~18:00)

Present

国家I種試験 過去3年択一過去問題集

国家総合職併願対策をお申込みの方に、もれなく、平成21年から平成23年までの最新の本試験問題を収録した問題集をプレゼントいたします。

※教養択一試験問題集と、お申込みをされた区分に応じた専門択一試験問題集とプレゼントいたします。



法律

面接・官庁訪問対策付き 全 42 回
面接・官庁訪問対策なし 全 34 回

開講オリエンテーション

専門択一对策

憲法	2回	商法	1回
民法	3回 *1	刑法	2回
行政法	3回	労働法	2回

地方上級レベル講座の学習内容を踏まえた併願対策

法律区分の専門択一試験は、地方上級レベル試験とは頻出論点の異なり、レベルの高い問題も出題されます。この講座では、地方上級レベル試験用に学習してきた知識をベースに、新たに習得が必要となる論点だけを効率的に学習します。

専門記述対策

講義	憲法	4回	答練	実践答練	4回
	民法	4回			
	行政法	4回			
	公共政策	3回			

答案添削付き

講義と答練の両面で実力を磨く！

長文問題や事例問題が多く出題される、国家総合職の専門記述試験に対応するため、科目ごとに十分な回数の講義を実施。論理的な答案を作るためのテクニックをマスターします。

さらに 4 時間 3 科目の本試験形式で実施する実践答練で、実力を磨いてください。

政策論文対策

予想テーマを徹底研究

答案添削付き

講義	2回
----	----

経済

面接・官庁訪問対策付き 全 63 回
面接・官庁訪問対策なし 全 55 回

開講オリエンテーション

専門択一对策

経済学応用 *2	16回	統計学・計量経済学	12回
財政学応用	3回	経済史・経済事情	4回

経済学の知識の底上げし、必須解答科目を攻略

この講座では、難易度の高い経済区分の問題に対応するため、地方上級レベルの講座で学習した、ミクロ・マクロの知識に磨きをかけます。また、新たに習得が必要となる統計学や計量経済学を、国家総合職の専用講義で攻略します。

専門記述対策

講義	経済理論	4回	答練	実践答練	4回
	財政学	4回			
	経済政策	4回			
	公共政策	3回			

答案添削付き

講義と答練の両面で実力を磨く！

長文問題や事例問題が多く出題される、国家総合職の専門記述試験に対応するため、科目ごとに十分な回数の講義を実施。論理的な答案を作るためのテクニックをマスターします。

さらに 4 時間 3 科目の本試験形式で実施する実践答練で、実力を磨いてください。

公開模試

実力の総チェック

受験無料

択一模試	2回	論文模試	2回
------	----	------	----

面接・官庁訪問対策

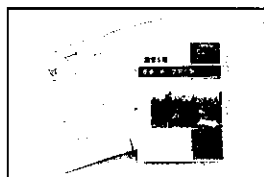
★「政策課題討議対策講義」・「模擬政策課題討議」・「企画提案Ⅱ部（プレゼン）対策」は、2012 年 11 月に実施される教養区分試験用の対策です。

講義編	面接対策講義	1回
	官庁訪問対策講義	1回
	政策課題討議対策講義★	2回

実践編	模擬面接	1回 + α
	模擬集団討論	1回
	模擬政策課題討議★	1回 + α
	企画提案Ⅱ部（プレゼン）対策★	1回 + α

国家総合職の官庁訪問に完全対応

国家総合職の官庁訪問は、一般職のものとは求められる能力も、内容も大きく異なります。この講座では、毎年、多数のキャリアを霞が関へ送り出す「Wセミナー国家総合職講座」の講師陣が官庁訪問対策を担当。官庁訪問を勝ち抜くための情報とノウハウを余すところなく提供します。



専門択一对策講義の受講前に、各科目、地方上級・一般職講座の講義を受講してください

*1 法律区分の「民法」については、「基本講義」だけでなく「民法応用」まで受講を済ませてください。

*2 経済区分の「経済学応用」については、ミクロ編(9回)とマクロ編(7回)に分かれていますので、地方上級・一般職講座の「基本講義 ミクロ経済学」の受講を終えた時点で、ミクロ編の受講ができます。「応用講義 ミクロマクロ応用」は未受講でもかまいません。

教室講座 渋谷校 日程表

DVD講座 各校・Web+DL通信講座 視聴開始日程表

【法律】日程

専門一講義				
科目名	回数	教室講座日程	視聴開始日	
オリエンテーション	①	8/30(火) 星	9/6(火)	
憲法	①	11/20(木) 星	11/19(木)	
	②	11/26(火) 星	11/16(火)	
民法	①	1/25(火) 星	2/1(火)	
	②	2/10(火) 星	2/8(火)	
	③	2/20(火) 星	2/15(火)	
行政法	①	1/12(木) 星	1/19(木)	
	②	1/19(木) 星	1/26(木)	
	③	1/26(木) 星	2/2(木)	
商法	①	1/11(火) 星	1/18(火)	
刑法	①	1/18(月) 星	1/23(月)	
	②	1/23(月) 星	1/30(月)	
労働法	①	12/18(月) 星	12/28(月)	
	②	12/28(月) 星	1/8(月)	

専門記述対策				
科目名	回数	教室講座日程	視聴開始日	
憲法	①	10/10(月) 夜	10/17(月)	
	②	10/17(月) 夜	10/24(月)	
	③	10/24(月) 夜	10/31(月)	
	④	10/31(月) 夜	11/7(月)	
民法	①	10/15(土) 夜	10/22(土)	
	②	10/22(土) 夜	10/29(土)	
	③	10/29(土) 夜	11/5(土)	
	④	11/5(土) 夜	11/12(土)	
行政法	①	11/25(金) 夜	12/2(金)	
	②	12/2(金) 夜	12/9(金)	
	③	12/9(金) 夜	12/16(金)	
	④	12/16(金) 夜	12/23(金)	
公共政策	①	2/4(土) 夜	2/11(土)	
	②	2/11(土) 夜	2/18(土)	
	③	2/18(土) 夜	2/25(土)	
実践答練	①	2/18(日) 星		
	②	3/4(日) 星		
	③	3/18(日) 星		
	④	4/1(日) 星		

【経済】日程①

専門一講義				
科目名	回数	教室講座日程	視聴開始日	
オリエンテーション	①	8/30(火) 星	9/6(火)	
経済学応用 (ミクロ編)	①	10/18(火) 夜		
	②	10/25(火) 夜		
	③	11/1(火) 夜		
	④	11/8(火) 夜		
	⑤	11/15(火) 夜		
	⑥	11/22(火) 夜		
	⑦	11/29(火) 夜		
	⑧	12/6(火) 夜	8/18(金)	
	⑨	12/13(火) 夜	8/30(火)	
	⑩	12/20(火) 夜	9/6(火)	
経済学応用 (マクロ編)	①	1/10(火) 夜	9/13(火)	
	②	1/17(火) 夜	9/20(火)	
	③	1/24(火) 夜	9/27(火)	
	④	1/31(火) 夜	10/4(火)	
	⑤	2/7(火) 夜	10/11(火)	
	⑥	2/14(火) 夜	10/18(火)	
	⑦	2/21(火) 夜	10/25(火)	
	⑧	2/28(火) 夜	10/31(火)	
	⑨	3/6(火) 夜	11/7(火)	
	⑩	3/13(火) 夜	11/14(火)	
財政学応用	①	1/18(月) 星	1/23(月)	
	②	1/25(月) 星	1/30(月)	
	③	2/1(月) 星	2/8(月)	
	④	2/8(月) 星	2/15(月)	
	⑤	2/15(月) 星	2/22(月)	
	⑥	2/22(月) 星	2/29(月)	
	⑦	2/29(月) 星	3/6(月)	
	⑧	3/6(月) 星	3/13(月)	
	⑨	3/13(月) 星	3/20(月)	
	⑩	3/20(月) 星	3/27(月)	
統計学・ 計量経済学	①	9/22(木) 夜	9/29(木)	
	②	9/29(木) 夜	10/6(木)	
	③	10/6(木) 夜	10/13(木)	
	④	10/13(木) 夜	10/20(木)	
	⑤	10/20(木) 夜	10/27(木)	
	⑥	10/27(木) 夜	11/3(木)	
	⑦	11/3(木) 夜	11/10(木)	
	⑧	11/10(木) 夜	11/17(木)	
	⑨	11/17(木) 夜	11/24(木)	
	⑩	11/24(木) 夜	12/1(木)	
経済史・経済事情	①	12/1(木) 夜	12/8(木)	
	②	12/8(木) 夜	12/15(木)	
	③	1/11(金) 夜	1/18(金)	
	④	1/18(金) 夜	1/25(金)	
	⑤	1/25(金) 夜	2/1(金)	
	⑥	2/1(金) 夜	2/8(金)	
	⑦	2/8(金) 夜	2/15(金)	
	⑧	2/15(金) 夜	2/22(金)	
	⑨	2/22(金) 夜	2/29(金)	
	⑩	2/29(金) 夜	3/6(金)	

【経済】日程②

専門記述対策				
科目名	回数	教室講座日程	視聴開始日	
経済理論	①	12/15(木) 夜	12/22(木)	
	②	12/22(木) 夜	1/13(金)	
	③	1/12(木) 夜	1/19(木)	
	④	1/19(木) 夜	1/26(木)	
財政学	①	1/13(金) 夜	1/20(金)	
	②	1/20(金) 夜	1/27(金)	
	③	1/27(金) 夜	2/3(金)	
	④	2/3(金) 夜	2/10(金)	
経済政策	①	1/28(木) 夜	2/2(木)	
	②	2/2(木) 夜	2/9(木)	
	③	2/9(木) 夜	2/16(木)	
	④	2/16(木) 夜	2/23(木)	
公共政策	①	2/4(土) 夜	2/11(土)	
	②	2/11(土) 夜	2/18(土)	
	③	2/18(土) 夜	2/25(土)	
	④	2/25(土) 夜	3/4(日)	
実践答練	①	2/18(日) 星		
	②	3/4(日) 星		
	③	3/18(日) 星		
	④	4/1(日) 星		

【法律・経済共通】日程

政策論文対策 法律・経済共通				
科目名	回数	教室講座日程	視聴開始日	
政策論文対策	①	11/12(土) 星	11/19(土)	
	②	11/19(土) 星	11/26(土)	

＜教室講座の講義時間帯＞
 【星】14:00～17:00 【夜】18:30～21:30
 ●お申込み時点で終了している講義については、DVD講座(無料)をご視聴ください。
 ●Web+DLフォーラムは、上記の視聴開始日からご覧いただけます。
 ＜DVD講座・Web+DL通信講座の受講方法＞
 各講義の視聴開始日以降、講義をご視聴ください。

Web+DL通信講座 教材送付日程表

送付予定日	講義名	科目名	法律	経済	送付教材	講義回数
随時発送	専門一	経済学応用	■	■	1～4	
8/24(水)	専門一	経済学応用	■	■	5～7	
9/13(火)	オリエンテーション		■	■	1	
9/21(水)	専門一	経済学応用	■	■	8～11	
	専門一	統計学・計量経済学	■	■	12～14	
10/12(水)	専門一	統計学・計量経済学	■	■	1～2	
	専門一	憲法	■	■	1～2	
	専門一	民法	■	■	1～2	
11/2(水)	専門一	経済学応用	■	■	15～18	
	専門一	統計学・計量経済学	■	■	3～4	
	専門一	憲法	■	■	1～2	
	専門一	民法	■	■	1	
11/17(木)	専門一	統計学・計量経済学	■	■	5～7	
	政策論文対策		■	■	1	
	専門一	憲法	■	■	3～4	
11/21(月)	専門一	民法	■	■	2～3	
	専門一	憲法	■	■	1～2	
12/8(火)	専門一	統計学・計量経済学	■	■	8～9	
	政策論文対策		■	■	1～2	
	専門一	民法	■	■	4	
	専門一	行政法	■	■	1	
12/21(水)	専門一	統計学・計量経済学	■	■	10～12	
	専門一	行政法	■	■	1～2	
	専門一	経済理論	■	■	1	
1/12(木)	専門一	労働法	■	■	1～2	
	専門一	財政学応用	■	■	1	
1/18(水)	専門一	経済史・経済事情	■	■	3～4	
	専門一	行政法	■	■	1	
	専門一	経済理論	■	■	1	
2/2(木)	専門一	財政学	■	■	1～2	
	専門一	刑法	■	■	1～2	
	専門一	財政学応用	■	■	1～2	
	専門一	経済史・経済事情	■	■	1～2	

DVD通信講座 教材送付日程表

送付予定日	講義名	科目名	法律	経済	送付教材	講義回数
随時発送	専門一	経済学応用	■	■	2～4	
2/2(木)	専門一	財政学	■	■	1	
	専門一	経済政策	■	■	1	
	専門一	公共政策	■	■	1	
2/8(月)	専門一	行政法	■	■	1～3	
2/17(金)	専門一	財政学応用	■	■	3	
	専門一	経済史・経済事情	■	■	3～4	
	専門一	財政学	■	■	2～4	
2/23(木)	専門一	民法	■	■	1～2	
	専門一	民法	■	■	1～3	
	専門一	民法	■	■	1	
3/7(水)	専門一	経済政策	■	■	3～4	
	専門一	公共政策	■	■	1～3	
3/21(水)	専門一	実践答練	■	■	1～2	
4/12(木)	専門一	実践答練	■	■	3	
	専門一	実践答練	■	■	4	

＜各種通信講座の日程表の見方＞
 お申込みをされた試験区分に該当する教材が、上記の送付予定日によって送付されます。送付予定日を過ぎていた教材については、初回送付時に一括送付いたします。それ以降は、上記送付日程に沿って送付いたします。
 [送付教材欄の見方]
 - 印の日は講義(回)に対応する講義DVD(DVD通信講座のみ)と講義レジュメが送付されます。
 ●印の日は上記に加えてテキストや問題集等が送付されます。
 ※講義レジュメは講義中に配布された補助資料です。Web+DL通信講座の方は、講義レジュメをWebサイトからPDFファイルでダウンロードすることが可能です。

【面接・官庁訪問対策の日程についてのご案内】

面接・官庁訪問対策の講義編・実践編は、2012年5月以降、順次実施いたします。日程は受講生の皆様へダイレクトメール等でお知らせいたします。

2012 年度 国家総合職 試験制度（大卒程度試験）

4/29
(日)

1
次
試
験

基礎能力試験 試験時間:3 時間

試験区分	共通	
解答数/出題数	解答数40（出題数は不明）	
出題分野	知能分野	知識分野※
科 目	数的処理⑩ 文章理解⑪	自然科学 人文科学 社会科学 } ⑩

※知識分野には時事を含む

専門択一試験 試験時間:3 時間 30 分

試験区分	法律	経済	政治・国際
解答数/出題数	40/49	40/46	40/48
必須解答科目	憲法⑦ 行政法⑫ 民法⑫	経済理論⑩ 財政学・経済政策⑤ 経済事情⑤ 統計学・計量経済学⑤	政治学・国際関係⑩ 憲法・行政法⑩ 民法*③ 経済学・財政学⑥ 経済政策③
	31題必須解答	31題必須解答	32題必須解答
選択解答科目	商法③ 刑法③ 労働法③ 国際法③ 経済学・財政学⑥	経済史・経済事情③ 国際経済学③ 経営学③ 憲法③ 民法*③	選択A 政治学・行政学⑥ 選択B 国際関係・国際法⑥
	18題中9題解答	15題中9題解答	選択A、Bから1つを選択

*印の民法では、担保物件、親族および相続は出題範囲に含まれません。

専門記述試験 試験時間:4 時間

試験区分	法律	経済	政治・国際
解答数	以下より3科目		以下より3科目
科 目	憲法 行政法 民法	必須科目1科目 経済理論 財政学 経済政策 公共政策	*公共政策選択時は2科目または3科目 政治学 行政学 憲法

政策論文試験 試験時間:2 時間

政策の企画立案に必要な能力、その他、総合的な判断力及び思考力についての筆記試験です。

人物試験 試験時間:平均 15～20 分

人事院による個別面接試験です。面接官3名、受験生1名の形式で実施され、A～Eの5段階で人柄や対人能力の評価が行われます。

※人物試験 5/29(火)～6/15(金)に実施されます

5/27
(日)
2
次
試
験

6/25
(月)

最終合格発表

Start
6/下旬

官庁訪問

最終合格発表日の2日後から、各省庁で採用面接が実施されます。希望の省庁へ訪問し、現役職員との面談を通じ、自分の経験や職務への熱意をアピールします。近年は、出身大学などより、受験生の意欲や人間的な魅力が評価される傾向にあります。

オプション講座 国家総合職併願対策 受講料		教室講座/DVD講座		Web+DL通信講座		DVD通信講座		Web+DLフォロー	
受講料は消費税5%、教材費込の金額です		コースNo.	通常受講料	コースNo.	通常受講料	コースNo.	通常受講料	コースNo.	通常受講料
法律区分対策 講座コード:14	面接・官庁訪問対策付き	123-491	¥98,000	123-791	¥98,000	123-691	¥118,000	123-881	¥30,000
	面接・官庁訪問対策なし	123-492	¥68,000	123-792	¥68,000	123-692	¥88,000	123-882	¥30,000
経済区分対策 講座コード:14	面接・官庁訪問対策付き	123-493	¥138,000	123-793	¥138,000	123-693	¥158,000	123-883	¥30,000
	面接・官庁訪問対策なし	123-494	¥108,000	123-794	¥108,000	123-694	¥128,000	123-884	¥30,000

札幌校	仙台校	水道橋校	新宿校	早稲田校	池袋校	渋谷校	八重洲校	立川校	中大駅前校	町田校	横浜校
DVD	DVD	DVD	DVD	DVD	DVD	教室	DVD	DVD	DVD	DVD	DVD
K0	J0	20	G0	R0	30	L1	L0	F0	M0	Y0	A0
日吉校	大宮校	津田沼校	名古屋校	京都校	梅田校	なんば校	神戸校	広島校	福岡校	Web+DL 通信講座	Web+DL フォロー
DVD	DVD	DVD	DVD	DVD	DVD	DVD	DVD	DVD	DVD	通信講座	通信講座
P0	C0	V0	50	60	70	B0	E0	N0	80	W4	96

※ 大学生協・取扱書店ではお申込みいただけません。TAC各校受付窓口でお申込みください。

※ 教室講座・DVD講座・DVD通信講座に、DL(ダウンロード)フォローはございません。教室講座の欠席フォローにはDVDフォローをご利用ください(有料:1回500円)。

※ この講座に含まれない科目や択一答練等を受講される場合は、単科講座をお申込みください。詳細は、国家総合職講座パンフレットをご覧ください。

本講座に関するお問合せは
TAC・Wセミナー公務員講座まで



0120-555-962

(受付時間/土日祝を除く9:30～18:00)

*携帯電話・PHSからもご利用いただけます。